
アーユルヴェーダ研究

No.37

2007年(平成19年)



日本アーユルヴェーダ学会
Āyurveda Society in Japan

2007年度版 アーユルヴェーダ研究 第37号 目次
第28回日本アーユルヴェーダ学会 富山研究総会

Nardostachys 属植物由来生薬の精油成分の分析 田中 謙, 小松かつ子 富山大学和漢医薬学総合研究所 富山大学 21 世紀 COE プログラム	1
アーユルヴェーダ生薬 HARITAKI のタンニン含量について 金沢大学大学院自然科学研究科生命薬学専攻 博士前期課程 2 年 渡辺明日香	4
Ayurveda 薬酒「asava」, 「arishta」の理化学的特性 奥津果優, 吉光見稚代, 御影雅幸 (金沢大学大学院自然科学研究科)	9
民族薬物データベースの構築とその応用ーウコン類生薬について 小松かつ子 (富山大学和漢医薬学総合研究所)	11
慢性関節リウマチ患者へのヨーガ療法とオイルマッサージの効果 クシュ・ヨーガ・カムラー 高平美智子 コスモイン仙台 渡辺幸子	20
ガン患者に果たせるヨーガ療法の役割 インテグラル・ヘルス研究所代表 博士 (工学) 星 一以	26
ヨーガ療法とは何か 日本ヨーガ療法学会 山岡久志	33
アーユルヴェーダ薬理の EBM: ギムネマ、グッグル、ショウガ 木村郁子 (富山短期大学 専攻科 食物栄養学科)	41
アシュバガンダ成分による神経変性疾患の改善作用 東田千尋 (富山大学・和漢医薬学総合研究所・民族薬物研究センター・薬効解析部)	42
パンチャカルマの EBM に迫る 富山県国際伝統医学センター 上馬場和夫、許 鳳浩、小川弘子	48
ヨーガによる脳波と免疫の変化 亀井 勉 Tsutomu KAMEI 財団法人島根難病研究所	59
日本におけるヨーガ療法士養成について 日本ヨーガ療法学会 山岡久志	66
東洋伝承医学研究所におけるアーユルヴェーダ教育の歴史とアーユルヴェーダ学会資格制度について 日本アーユルヴェーダ・スクール 講師 加藤幸雄	69
肥満治療における古代・現代アーユルヴェーダと西洋医学の比較 日本赤十字社医療センター 第一内科 (糖尿病内分泌科) 吉次通泰	72
重金属を主成分とする 3 種のチベット薬物の基源鉱物について 伏見裕利、伏谷眞二 (日薬大・薬)、小松かつ子 (富山大・和漢研)、 D. Dawa (Tibetan Med. and Astro. Inst.)、伏見直子 (榊ウチダ和漢薬)	76
不二一元の楽健法 ー有効で安全なタッチ・コミュニケーション法ー	78

上馬場和夫 1)、許鳳浩 1)、小川弘子 1)、尾間由美子 2)、長谷川由美 3)、
安達葉子 4)、佐藤亜紀 4)、西川真知子 5)、山内宥蔵 6)

1) 富山県国際伝統医学センター、2) ローズドメイ、3) アバンダンス、
4) 富山ヨーガ療法研究会、5) 日本チャルビリングセンター、6) 東光寺

Ayurveda and Antistress and Adaptogenic Concepts

アーユルヴェーダ、アンチストレス、強壮効果の概念 85
大平悦子 (オーストラリア・アーユルヴェーダカレッジ)、ジェイソン・
チャンダラー教授 (CEO・Vaidyacharya) の代理として。

クシャーラ・スートラ治療の合併症について

不二越病院 外科 山本克弥、杉木 実、田澤賢次 90

スリランカにおける Kshara の製造方法

金沢大学・院・自然科学研究科 吉光見稚代・奥津果優・御影雅幸 92

漢方医学の歴史と現在：そしてエビデンスへの取組み

富山大学大学院医学薬学研究部 (医学) 和漢診療学講座 95
富山大学 21 世紀 COE プログラム 嶋田 豊

Management of kuSTha アーユルヴェーダ治療による症例報告 アトピー性皮膚炎

イナムラ・ヒロエ・シャルマ (大阪アーユルヴェーダ研究所) 99
Prof. H. S. Sharma (Vice-chancellor Intl. Vaidic Fndth)

アーユルヴェーダと中国の体質、現代医学の QOL との関係—問診票による比較の試み—

上馬場和夫 1)、許 鳳浩 1)、小川弘子 1)、朱 燕波 2,3)、折笠英樹 2) 103
1) 富山県国際伝統医学センター、2) 富山大学情報統計学科、3) 北京中医薬大学

アムラ外用による肌と髪への効果

(有) ビューティーライフ研究所 高橋佳璃奈 工藤友絵 112
竹内美利 小見山知美

インド薬草及びオイルの驚くべき効果

渡邊保子 (アーユルヴェーダ ヘアーサロン・スタジオ美技) 115

アーユルヴェーダの皮膚科学 Ayurvedic Dermatology

クリシュナ U. K. 日本アーユルヴェーダ・スクール校長 116

環境医学におけるアーユルヴェーダ的概念

I P 生命医学研究所 所長 富山県国際伝統医学センター 参与 119
Ayurvedic Practitioner 門馬登喜大

アーユルヴェーダの実践

御影雅幸 (金沢大学大学院自然科学研究科薬学系) 125

アーユルヴェーダの科学的基礎

Dr. Shrinivasa 128